

## 仙台市技能功労賞

仙台市には毎年職業上で功績あつた人を各分野から表彰する制度がある。電気工事関係でも毎年一人か二人、仙台電気工事組合の推薦で組合員の中から表彰される。昭和六十二年一月二三日、勤労感謝の日に私が選ばれ、戦災復興記念館にて、夫婦同伴で表彰された。

同年組合より”模範になる工事現場をおしえて下さい”と電話があつた。早速工事が終わったばかりの、長町で長男の会社の下請けで施工した三階建てのビルを報告した。テナントが七・八軒入り二階三階は建て主の自宅兼用、小規模な建物だが約半年間、誰にも手を借りず一人で完工した。

仮設の工事から始まり配管工事、コンクリートの流し込みの手伝い、配線器具の取り付けから、テレビアンテナ工事、電灯、電力メーター取り付け、竣工検査まで、電気に関する一切の工事を自分ながら、模範的に無事終えたと思う。

従業員が一人居たが退職し私一人だった。そのビルだけでなく、家庭電気工事や、家電製品の販売や修理等も小規模ながらやっていた。仙台には電気工事店が三百社以上ある。私より優れた人は多い、それに私は余りにも小さい店だ。どうして私が選ばれたのか推測して見た。テレビやビデオの家電製品の修理販売を兼ねている工事店は少ない、私は弱電の知識で、電気工事に必要な測定器等考えて組合に話しかける。組合の推薦で雇用促進事業団の職業訓練校に非常勤講師として、一年間、週二日電氣理論の教鞭を執った。

アマチュア無線の講師も長く、組合員と電力の打ち合わせ会には積極的に建設的な発言もした。これらが加味されたのだろう。

表彰式には妻はパーマ屋さんでおめかし、私は白ネクタイを締め、まるで結婚式に参列するような支度だった。

